

28年7月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年7月1日～ 28年7月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
入荷動向	スギ	16.7	△ 60.0	20.0
	ヒノキ	△ 25.0	△ 50.0	0.0
	カラマツ	33.3	0.0	20.0
	トドマツ	66.7	△ 66.7	0.0
消費動向	スギ	33.3	△ 40.0	40.0
	ヒノキ	0.0	△ 50.0	25.0
	カラマツ	50.0	△ 20.0	0.0
	トドマツ	33.3	0.0	33.3
在庫動向	スギ	△ 16.7	△ 60.0	0.0
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	25.0
	カラマツ	16.7	△ 20.0	0.0
	トドマツ	33.3	△ 33.3	0.0

・合板原木の入荷は、7月は概して増加するが、8月は減少し、9月は再び増加ないし横ばい。

・合板原木の消費は、7月は概して増加するが、8月は減少し、9月は再び増加ないし横ばい。

・合板原木の在庫は、7月の減少ないし増加が、8月は減少し、9月は横ばいないし一部増加。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/7月	8月	9月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	16.7	0.0	0.0
米マツ	0.0	0.0	△ 25.0
北洋カラマツ	0.0	△ 50.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ及びヒノキの合板用原木価格は3ヵ月連続して横ばい。カラマツは7月のやや強含みが8月、9月は横ばい。米マツは7月、8月の横ばいが、9月はやや弱含みに。北洋カラマツは7月の横ばいが、8月の弱含みから9月は横ばい。その他は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・トドマツ入荷は在庫調整のため減少。
- ・安定的に入荷。消費は先月より稼働日数が増えるため増加。在庫は生産に合わせての入荷で横ばい。
- ・順調に入荷。生産増につき消費増。
- ・スギは県産材を最優先に仕入れ、基本的には極端な仕入れ調整はせずに入荷していく予定。なるべく消費分を入荷し、かつ国産材を多く消費できるよう努める。スギの在庫が溜まりつつあり、多少置き場の都合で在庫調整が必要と考える。
- ・入荷、消費は、カラマツ増量で横ばい。全体的に在庫オーバー。
- ・6月中旬から入荷が増えている。7月以降も安定すると考える。6月、7月は年間を通して生産がピークになるので消費増。
- ・7月、8月は虫材及び高含水原木の時期だけに、入荷を制限する。9月以降元に戻す。消費は8月は盆休みで減る。入荷制限で在庫は減少。

(原木価格)

- ・カラマツは高値で安定だが、他社との競争があり今後値上がるもかも。北洋カラマツは円高で原木の価格が下がると思ったが、現地は横ばい提示。
- ・国産材合板用原木の価格は横ばい。外材は、現地価格は横ばいだが、円高進行で仕入れ価格は下がっている。
- ・カラマツ高値張り付き。
- ・ほとんどが横ばい。
- ・国産材は横ばいで購入。外材は9月以降為替の影響が出始める。

28年7月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		28/7月	8月	9月
生産動向	構造用(9mm)	33.3	△ 20.0	40.0
	〃 (12mm)	71.4	△ 16.7	33.3
	〃 (15mm)	28.6	△ 33.3	33.3
	〃 (24mm)	42.9	△ 33.3	33.3
	〃 (28mm)	42.9	△ 50.0	16.7
出荷動向	構造用(9mm)	33.3	20.0	20.0
	〃 (12mm)	71.4	50.0	33.3
	〃 (15mm)	42.9	16.7	16.7
	〃 (24mm)	71.4	50.0	33.3
	〃 (28mm)	83.3	40.0	40.0
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 57.1	△ 50.0	△ 50.0
	〃 (15mm)	△ 42.9	△ 33.3	△ 33.3
	〃 (24mm)	△ 57.1	△ 50.0	△ 50.0
	〃 (28mm)	△ 71.4	△ 50.0	△ 50.0

・合板の生産は全品目で7月の増加が、8月は減少し、9月は再び増加。

・合板の出荷は全品目で、3ヵ月連続して増加。

・合板の在庫は、9mmが3ヵ月連続して横ばい。それ以外の品目は3ヵ月連続して減少。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/7月	8月	9月
構造用(9mm)	33.3	0.0	20.0
〃 (12mm)	42.9	16.7	16.7
〃 (15mm)	28.6	16.7	16.7
〃 (24mm)	57.1	33.3	16.7
〃 (28mm)	57.1	16.7	16.7

・合板の出荷価格は総じて強含みないしやや強含みで推移。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

- ・稼働日増えた分、生産増加。現在受注先行で生産分は出荷。もともと全製品の在庫は少なく、生産した分は出荷するため横ばい。
- ・引合い多く生産増、8月は休日多く生産日数減。欠品アイテムあり、1ヵ月待ちあり。更に在庫減。
- ・第二工場火災で生産減、特に28mm。
- ・少量生産につき変化なし。
- ・フル生産。需要が非常に強い。在庫は全品目で不足感。
- ・在庫量、製品の荷動きに合わせての生産、8月は盆休みで生産減。先月同様に仮需と思われる発注で引き合いは強い。梅雨が明け上棟も増加すると考えられ、出荷が増える。在庫は増える状況になり。

(合板価格)

- ・先月より全品目徐々に値上げ浸透。
- ・上昇傾向、特に厚物。
- ・少々の価格の上昇が考えられる。
- ・変わらず。
- ・第二四半期交渉も横ばい、建材ルートで若干の価格上昇も見られる。
- ・夏場以降の荷動きに期待しながら、様子見が続くと思う。